

2023年7月19日

参加者各位

第163回日経調セミナー  
「食べる魚が無くなった日本漁業」

(一社)日本経済調査協議会

シンポジウム式次第

13:30~13:35 主催者挨拶 (日本経済調査協議会 専務理事)

13:35~13:45 第3次水産業改革委員会 委員長挨拶  
小松正之 氏 (生態系総合研究所 代表理事)

13:45~14:15 基調講演 1  
『持続可能な漁業:オーストラル・フィッシャリーズ社による  
オーストラリアにおけるITQならびにITEの運用経験』  
David Carter 氏 (Austral Fisheries CEO)

14:15~14:30 質疑応答

14:30~15:00 基調講演 2 『水産資源を持続させるために何が必要か?』  
池見賢 氏 (マルハニチロ代表取締役社長:「第3次水産業改革委員会」委員)

15:00~15:15 質疑応答

(休憩10分間)

15:25~16:20 パネルディスカッション 『待った無しの日本漁業 抜本再生』  
パネリスト : David Carter 氏  
池見賢 氏  
泉澤宏 氏 (網代漁業 代表取締役:「第3次水産業改革委員会」委員)  
阪口功 氏 (学習院大学法学部 教授:「第3次水産業改革委員会」委員)  
藤田仁司 氏 (水産庁 次長)

コーディネーター : 小松正之 氏

※ パネルディスカッションの冒頭、泉澤氏、阪口氏、藤田氏より各5~10分程度でご挨拶等を頂きます。

16:20~16:30 質疑応答

16:30 閉会

## 登壇者紹介

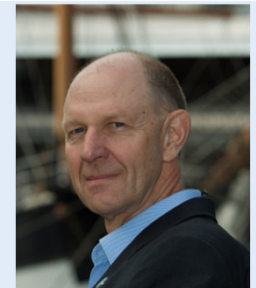
### 日経調「第3次水産業改革委員会」委員長兼主査



#### 小松 正之 氏 Masayuki Komatsu (一般社団法人生態系総合研究所 代表理事)

1953年 岩手県生まれ  
1984年 米エール大学経営学修士 (MBA)  
2004年 東京大学農学博士  
1977年 農林水産省に入省。漁場資源課課長、水産総合研究センター理事などを歴任。  
国際捕鯨委員会 (IWC) などの国際会議、国際海洋法裁判所、国連海洋法仲裁裁判所裁判に出席参加。  
FAO水産委員会議長。インド洋マグロ漁業委員会議長、IWC財政運営委員会議長、  
在イタリア日本大使館一等書記官、内閣府規制改革委員会専門委員及び新潟県参与を務める。  
2008年～2013年 政策研究大学院大学教授  
2008年～現在 特定非営利活動法人東都中小オーナー協会 (TEOS) 理事  
2018年～現在 一般財団法人鹿島平和研究所 研究会主査  
2021年6月 一般社団法人日本経済調査協議会 第3次水産業改革委員会 委員長兼主査

### パネリスト (順不同)



#### David Carter 氏 デイビッド カーター (Austral Fisheries CEO)

メルボルン大学で理学士号を取得  
最初の仕事はAustral Fisheries社で、甲板員として働き始める。  
Austral Fisheries社でのキャリアは45年に及ぶ。  
海上で過ごすことへの情熱を持ち続けている。  
これまでのキャリアを通じてできるだけ多くの業務において持続可能な方法を取り入れることを目指してきた。  
2012年 オーストラリア水産産業殿堂入り  
2020年 MSC (Marine Stewardship Council: 海洋管理協議会) の生涯功労賞を受賞



#### 池見 賢 氏 Masaru Ikemi (マルハニチロ株式会社 代表取締役社長)

1981年 京都大学農学部水産学科卒業後大洋漁業株式会社入社  
2008年 株式会社マルハニチロ食品 海外部長  
2010年 キングフィッシャーホールディングス社 (タイ) へ派遣  
2011年 株式会社マルハニチロホールディングス 執行役員  
同社 執行役員経営企画部長を経て  
2014年 マルハニチロ株式会社 執行役員経営企画部長  
同社 常務執行役員、同社 取締役常務執行役員、同社 取締役専務執行役員を経て  
2020年～現在 同社 代表取締役社長



#### 泉澤 宏 氏 Hiroshi Izumisawa (網代漁業株式会社 代表取締役)

1984年 北里大学水産学部卒業  
1989年より 定置漁業に従事。  
2007年より 網代漁業株式会社 代表取締役  
2009年～2011年 水産庁水産政策審議会委員  
2011年 みやぎ定置漁業生産組合 組合長  
2016年より 有限会社泉澤水産 代表取締役  
2017年～2019年 内閣府規制改革推進会議専門委員



#### 阪口 功 氏 Isao Sakaguchi (学習院大学法学部 教授)

2004年 東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻にて博士号 (学術) を取得  
イェール大学国際地域研究センター客員研究員などを経て  
2005年 学習院大学法学部助教授  
2006年～現在 同教授  
2016年～2018年 ミドルベリー国際大学院モンレー校客員研究員  
2017年 ビュー財団海洋フェロー賞を受賞 同賞の受賞は日本人として2人目  
専門は地球環境ガバナンス。  
近年特に漁業ガバナンスと水産物の持続可能性の研究に力を注ぐ。



#### 藤田 仁司 氏 Hitoshi Fujita (水産庁 次長)

1987年 農林水産省入所  
2013年 水産庁資源管理部漁業調整課 漁船漁業対策室長  
2014年 水産庁資源管理部漁業調整課 沿岸・遊漁室長  
2016年 水産庁資源管理部 管理課長  
2017年 水産庁 企画課長  
2019年 水産庁 栽培養殖課長  
2020年 水産庁 資源管理部長  
2023年～現在 水産庁 次長